

長野市若者支援に関するアンケート調査

結果報告書（単純集計）

令和7年7月30日

こども未来部こども政策課

目 次

I	調査の概要	1
I-1	調査の目的と実施概要	1
I-2	調査結果を読む際の留意事項	2
II	調査結果	3
II-1	あなたご自身について	3
II-2	就労について	5
II-3	あなたの状況について	8
II-4	結婚・出産について	25
II-5	人生設計（ライフプラン）について	30
II-6	意見表明について	34

I 調査の概要

I - 1. 調査の目的と実施概要

(1) 調査の目的

若者への支援を充実させるための計画の策定に向けて、長野市における若者の状況や支援に関するニーズなどを把握するため、住民基本台帳の中から無作為に抽出した満 15～39 歳の方を対象に調査を実施したものです。

(2) 調査概要

この調査の概要は以下のとおりです。

調査対象	市内在住の満 15～39 歳
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送・インターネット
調査期間	令和 7 年 5 月 7 日～5 月 20 日 (インターネットのみ 5 月 27 日まで実施)

配 付 数	6,000 票
回 収 数	1,849 票
回 収 率	30.8%

I - 2. 調査結果を読む際の留意事項

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

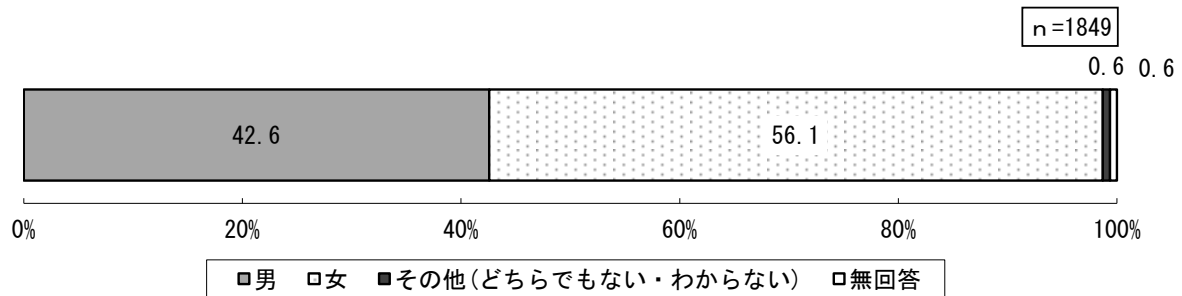
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記するため、すべての比率の合計で100%前後の誤差が生じる場合があります。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。

Ⅱ 調査結果

Ⅱ-1. あなたご自身について

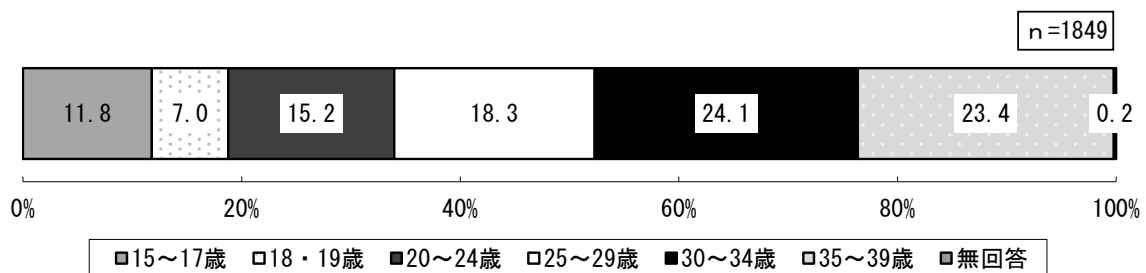
問1 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

- 回答者の性別は、「女」が56.1%、「男」が42.6%、「その他（どちらでもない・わからない）」が0.6%となっています。



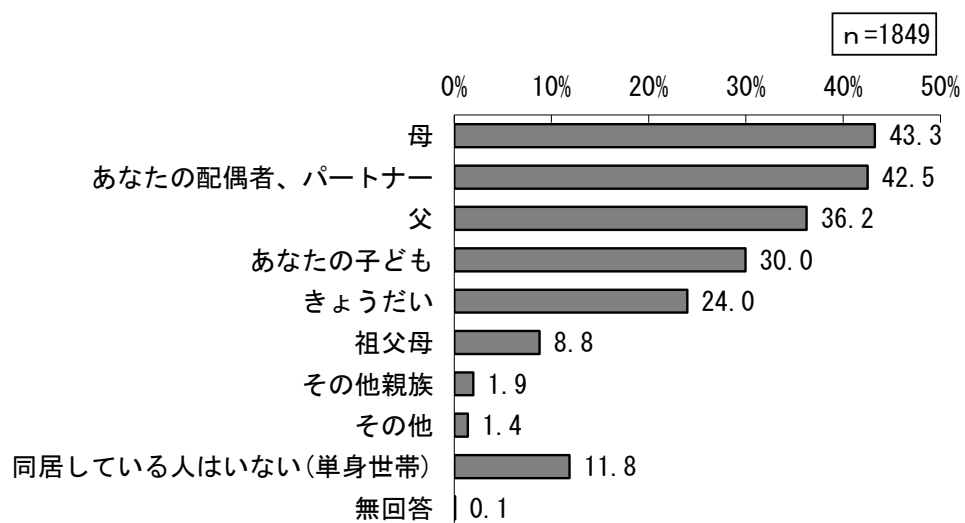
問2 あなたの年齢をお答えください。（1つに○）

- 回答者の年齢は、「30～34 歳」が24.1%と最も高くなっています。次いで「35～39 歳」（23.4%）、「25～29 歳」（18.3%）と続きます。



問3 現在、あなたと同居している方をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

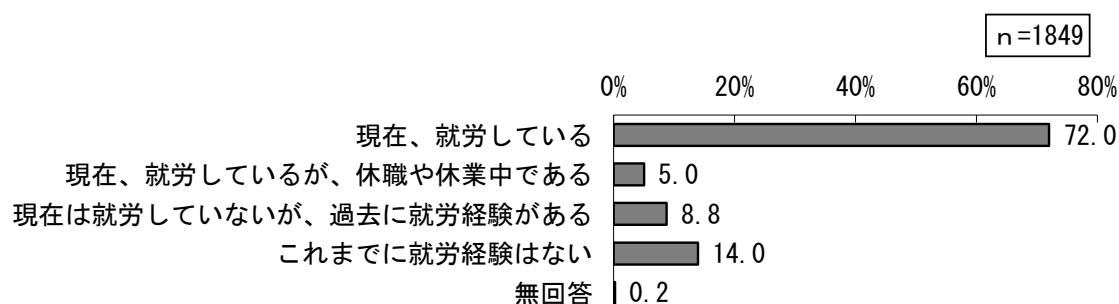
- 回答者の同居人は、「母」が43.3%と最も高くなっています。次いで「あなたの配偶者、パートナー」（42.5%）、「父」（36.2%）と続きます。



Ⅱ-2. 就労について

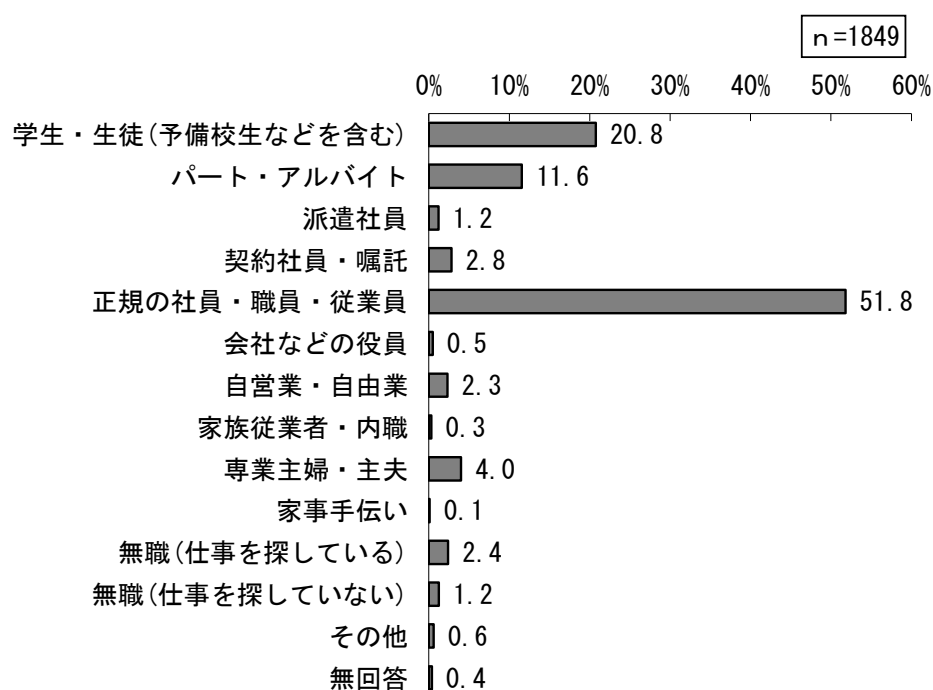
問4 あなたの就労経験についてお答えください。（パート・アルバイトを含む）（1つに○）

- 回答者の就労経験は、「現在、就労している」が72.0%と最も高くなっています。次いで「これまでに就労経験はない」（14.0%）、「現在は就労していないが、過去に就労経験がある」（8.8%）と続きます。



問5 あなたの現在の就労状況をお答えください。（主なもの1つに○）

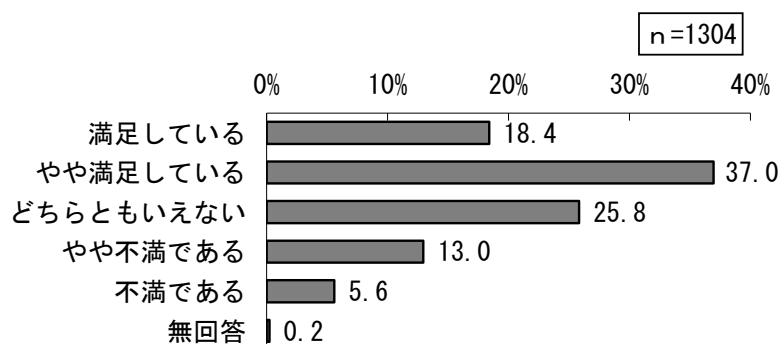
- 現在の就労状況は、「正規の社員・職員・従業員」が51.8%と最も高くなっています。次いで「学生・生徒（予備校生などを含む）」（20.8%）、「パート・アルバイト」（11.6%）と続きます。



問6 問5で「2」～「8」（就労している）を選んだ方のみ、お答えください。

あなたは、現在の仕事に満足していますか。（1つに○）

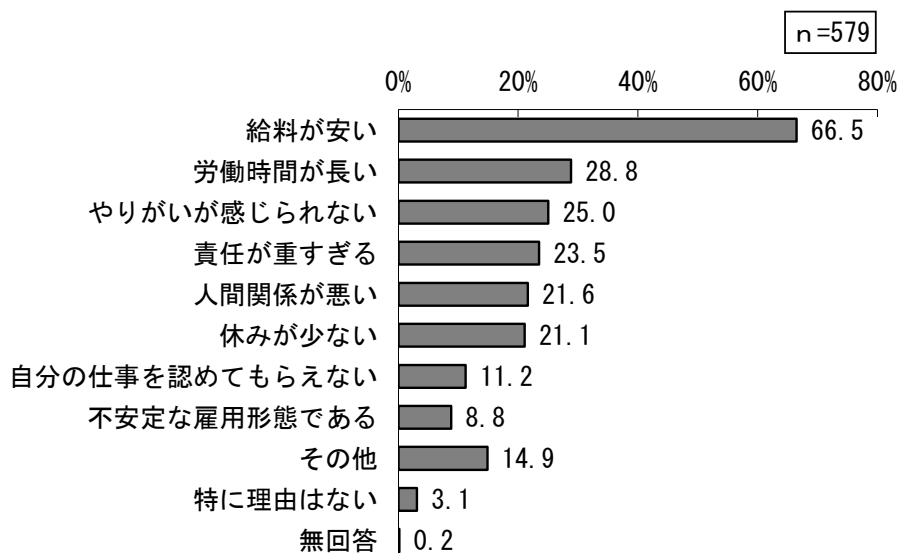
- 現在の仕事に満足しているかでは、「やや満足している」が 37.0%と最も高くなっています。次いで「どちらともいえない」（25.8%）、「満足している」（18.4%）と続きます。



問6-1 問6で「3」～「5」を選んだ方のみ、お答えください。

不満がある（満足に感じない）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

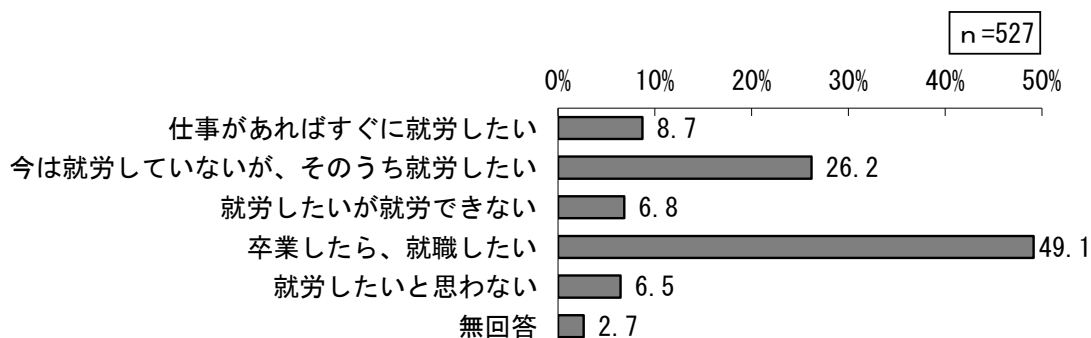
- 不満がある（満足に感じない）理由では、「給料が安い」が 66.5%と最も高くなっています。次いで「労働時間が長い」（28.8%）、「やりがいを感じられない」（25.0%）と続きます。



問7 問5で「1」または「9」～「12」（就労していない）を選んだ方のみ、お答えください。

今後、就労することについて、どう考えていますか。（1つに○）

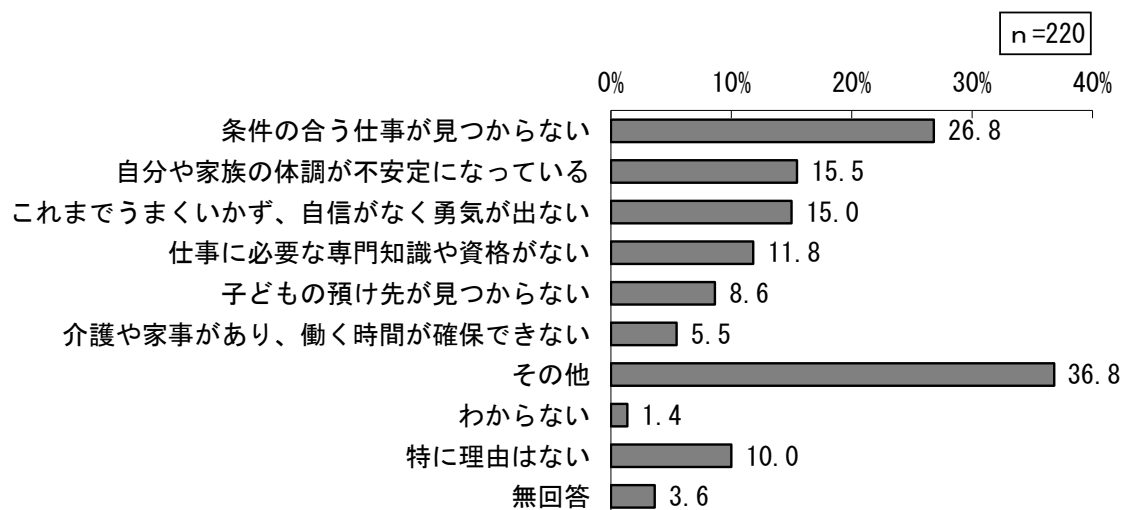
- 今後、就労することについて、どう考えているかでは、「卒業したら、就職したい」が49.1%と最も高くなっています。次いで「今は就労していないが、そのうち就労したい」（26.2%）、「仕事があればすぐに就労したい」（8.7%）と続きます。



問7-1 問7で「1」～「3」を選んだ方のみ、お答えください。

就労したいと思うのに、現在、就労していない（就労できない）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

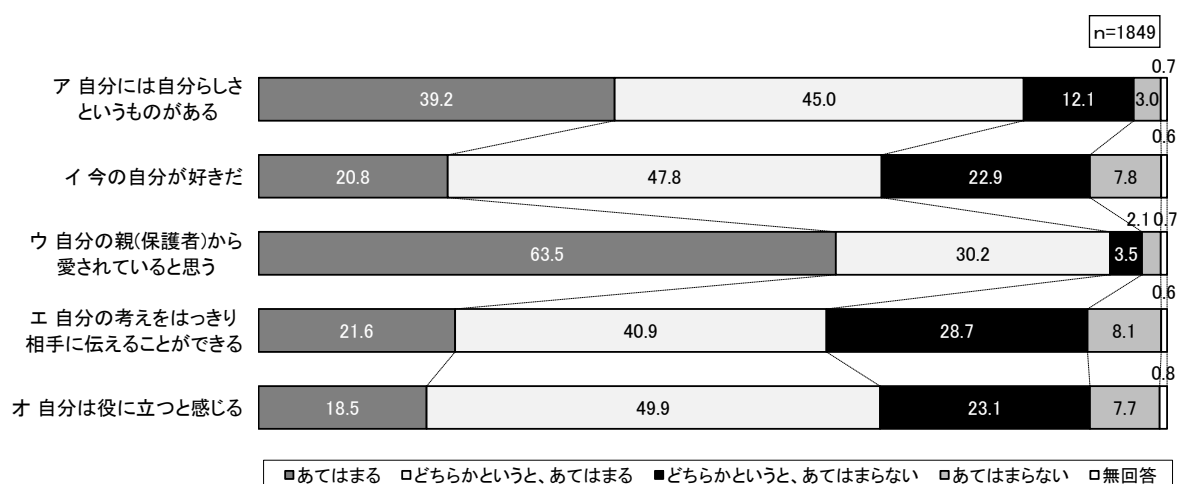
- 就労したいと思うのに、現在、就労していない（就労できない）理由では、「条件の合う仕事が見つからない」が26.8%と最も高くなっています。次いで「自分や家族の体調が不安定になっている」（15.5%）、「これまでうまくいかず、自信がなく勇気が出ない」（15.0%）と続きます。



Ⅱ-3. あなたの状況について

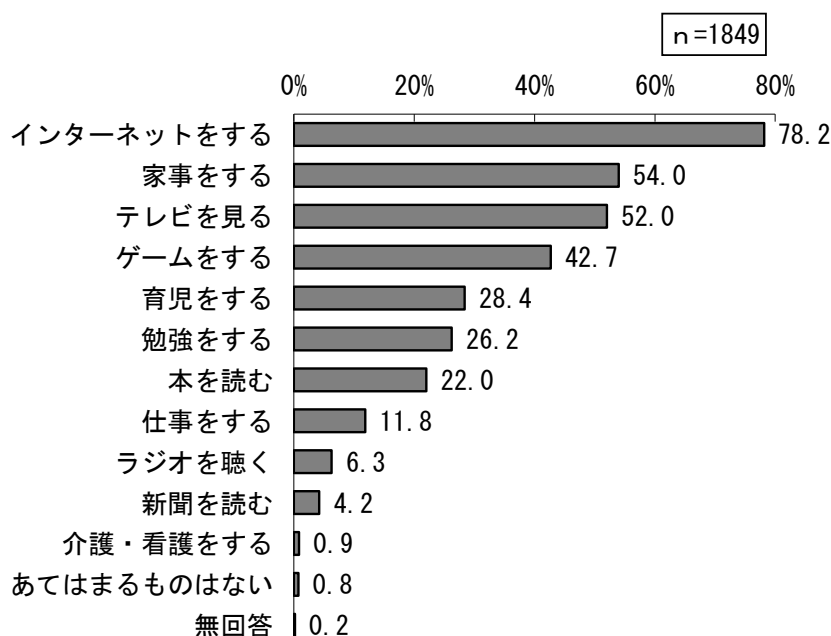
問8 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。（ア～オについて、それぞれ1つに○）

- 自身についてあてはまるものをみると、「あてはまる」と「どちらかという、あてはまる」をあわせた『あてはまる』は、すべての項目で6割以上となっています。最も割合が高いのは「ウ 自分の親（保護者）から愛されていると思う」の93.7%となっており、次いで「ア 自分には自分らしさというものがある」（84.2%）、「イ 今の自分が好きだ」（68.6%）と続きます。
- 「イ 今の自分が好きだ」、「エ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」、「オ 自分は役に立つと感じる」においては、「どちらかという、あてはまらない」と「あてはまらない」をあわせた『あてはまらない』が3割程度みられます。



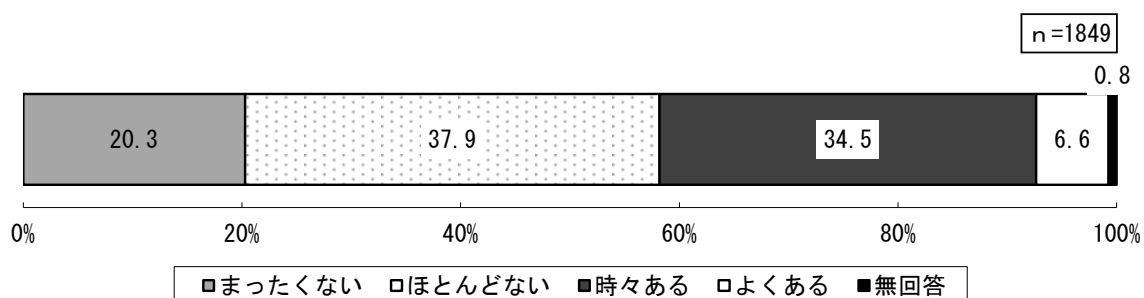
問9 普段、自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。
よくしていることを選んでください。（あてはまるものすべてに○）

- 自宅にいるとき、どんなことに時間を使っているかでは、「インターネットをする」が78.2%と最も高くなっています。次いで「家事をする」（54.0%）、「テレビを見る」（52.0%）と続きます。



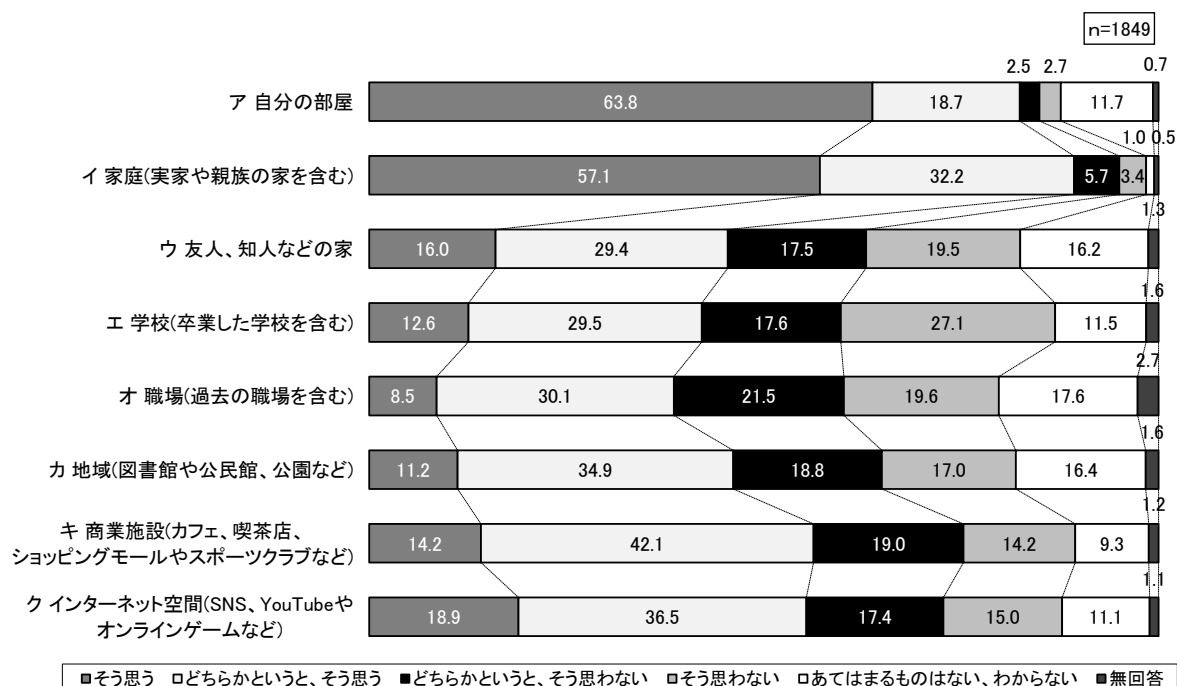
問10 あなたはどの程度、孤独であると感じたことがありますか。（1つに○）

- どの程度、孤独であると感じたことがあるかでは、「ほとんどない」が37.9%と最も高くなっています。次いで「時々ある」（34.5%）、「まったくない」（20.3%）、「よくある」（6.6%）と続きます。



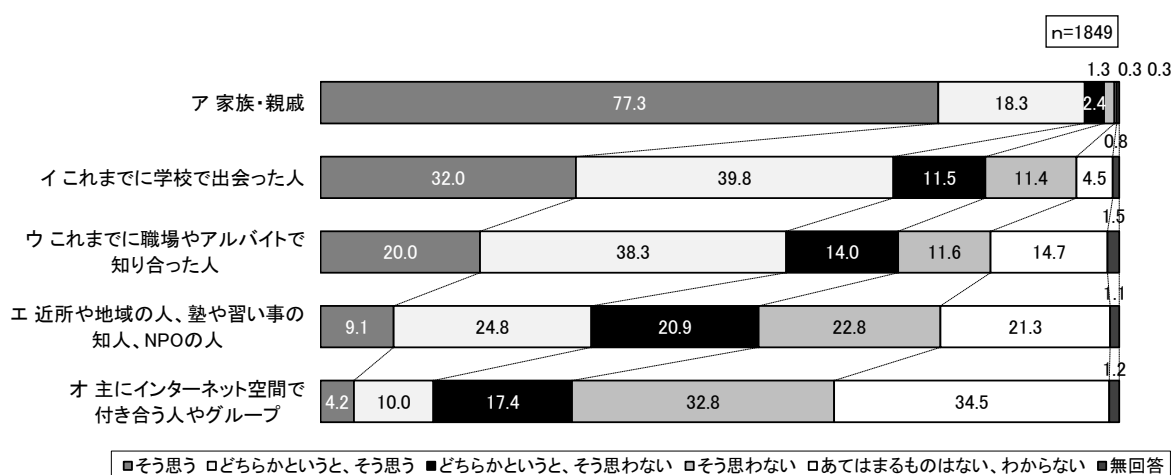
問 11 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（ア～クについて、それぞれ1つに○、それ以外にある場合はケに記載）

- 今のあなたにとって居場所についてみると、「そう思う」と「どちらかという、そう思う」をあわせた『そう思う』では、「イ 家庭（実家や親族の家を含む）」が 89.3%と最も高くなっています。次いで「ア 自分の部屋」（82.5%）、「キ 商業施設（カフェ、喫茶店、ショッピングモールやスポーツクラブなど）」（56.3%）と続きます。
- 「そう思わない」と「どちらかという、そう思わない」をあわせた『そう思わない』では、「エ 学校（卒業した学校を含む）」の 44.7%が最も高く、次いで「オ 職場（過去の職場を含む）」（41.1%）、「ウ 友人、知人などの家」（37.0%）と続きます。



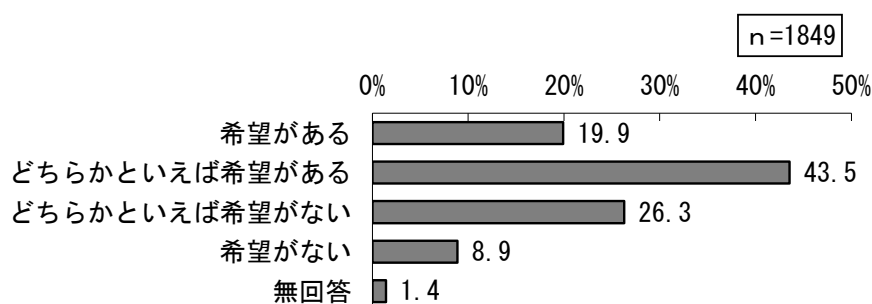
問 12 次に該当する人について、あなたが困ったときに助けてくれると思いますか。（ア～オについて、それぞれ1つに○）

- 困ったときに助けてくれる人についてみると、「そう思う」と「どちらかという、そう思う」をあわせた『そう思う』では、「ア 家族・親戚」の 95.6%が最も高く、次いで「イ これまでに学校で出会った人」（71.7%）、「ウ これまでに職場やアルバイトで知り合った人」（58.3%）と続きます。
- 一方で、「エ 近所や地域の人、塾や習い事の知人、NPOの人」は 33.9%、「オ 主にインターネット空間で付き合う人やグループ」は 14.2%と低くなっています。



問 13 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。（1つに○）

- 自分の将来について明るい希望を持っているかでは、「どちらかといえば希望がある」が 43.5%と最も高くなっています。次いで「どちらかといえば希望がない」（26.3%）、「希望がある」（19.9%）と続きます。



問 13-1 問 13 で「1」、「2」（希望がある）を選んだ方にお聞きします。

あなたは、自分の将来について、どのような希望がありますか。（自由記載）

（抜粋）

- ・ 具体的な夢（職業など）はまだないけれど、それを見つけていくために日々できる事をや
っていきたいと思っている。
- ・ 専門大学で新たな知識を学び、将来につなげたい。
- ・ 勉強していることを活かした技術を使って、仕事をしていくこと。
- ・ 医療系の仕事に携わっているため、学会やセミナーに積極的に参加し、知識を深め地域の
人に貢献していきたい。
- ・ 地元で仕事をしたい。
- ・ 地域を支える福祉職員になる。
- ・ 開業する。
- ・ 地元でお世話になった人達のために働きたい。困っている人、悩んでいる人の話を聞いて
あげたい。
- ・ 就職して一生懸命働くこと。たくさんの人と出会って、自分の居場所が増えること。
- ・ 自由な働き方ができる。将来の子どもたちの選択肢が増える。
- ・ 仕事以外の家族時間やリフレッシュできる機会を充実させたい。
- ・ 衣食住を欠くことなく、好きな人や家族との時間を持ち、心身ともに健康に生きる。
- ・ 育児をして子の成長を楽しみながら、仕事でも自己実現をしていきたい。
- ・ 趣味の合うパートナーと出会いたい。
- ・ 結婚して家庭を持ちたい。
- ・ 子どもを産み育てたい。ずっと働きたい。
- ・ 自分の大事な人と一緒に暮らしたい、友達ともずっと関わりたい。

問 13-2 すべての方にお聞きします。

あなたの希望を実現するために、また、あなたが明るい希望を持てるように、行政や周りの人などに、どのような手助けをしてほしいですか。（自由記載）

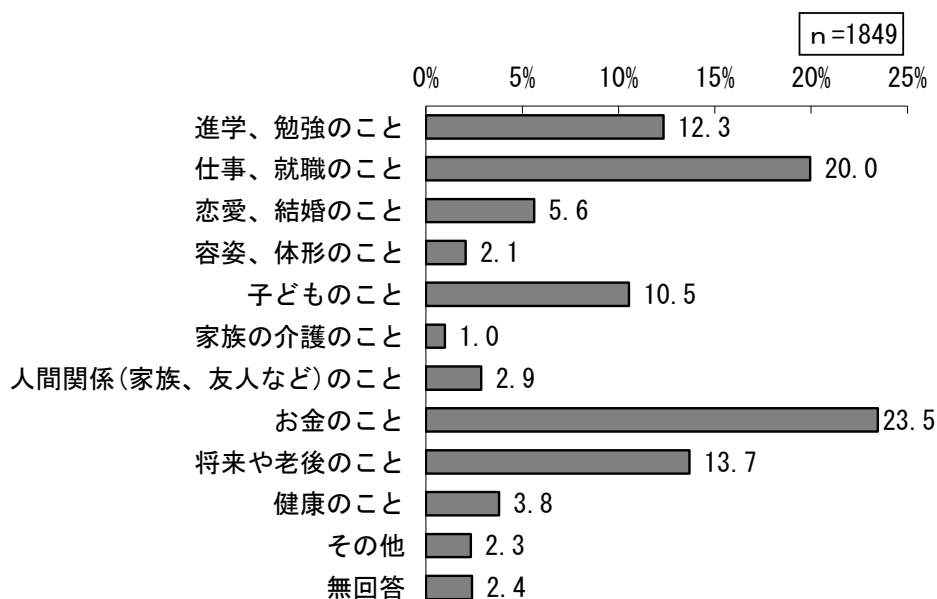
（抜粋）

- ・ になりたいもの（職業、姿、進学先なども含めて）があるがどうしたらいいかわからない人、
 になりたいものがなくてどうしたらいいかわからない人への支援、アドバイスができる場所
 があるといい。
- ・ 学校だけではなく幅広く学べる環境を整備してもらいたい。
- ・ 人材育成事業を拡充してほしい。
- ・ 居場所作り（どんな人でも集える場所、環境の整理）
- ・ 家以外で勉強をできる場所をもっと増やしてほしい。
- ・ 柔軟な働き方を認めてもらえる制度を作してほしい。
- ・ 結婚相手含め、社会人になってから人と出会う場が少ない。市主催や地域主催で出会いの
 場、交流の場ができると嬉しい。
- ・ 参加しやすい出会いの場（スポーツ大会や、芸術鑑賞会等）を設けてほしい。
- ・ 若い人が結婚や子どもをもつことに積極的になれるように、若者同士の出会いの場や学生
 が子どもと交流できる場を作してほしい。
- ・ 様々な制度や仕組みがあっても、知らない、使い方がわからないと何もできないので、調
 べやすい聞きやすい仕組みづくりをしてほしい。
- ・ 時間や曜日を限定しない相談窓口を設置してほしい。
- ・ 何かあった時に気軽に相談できる場が欲しい。対面でも良いがネット等でも話せるともっ
 と気軽に良い。
- ・ 相談窓口について、すでに存在していても、認知度が低い。
- ・ ひきこもり支援（居場所作りや働ける場所の確保、企業と協力してやってほしい）、ひき
 こもりの家族のケア（話を聞くだけでなく、具体的な案内、専門家との面談など）。

問 14 現在どのようなことに悩み、不安を抱えていますか。最大の悩み、第2の悩み、第3の悩みをそれぞれお答えください。（最大、第2、第3のそれぞれに該当する番号を1つ記入）

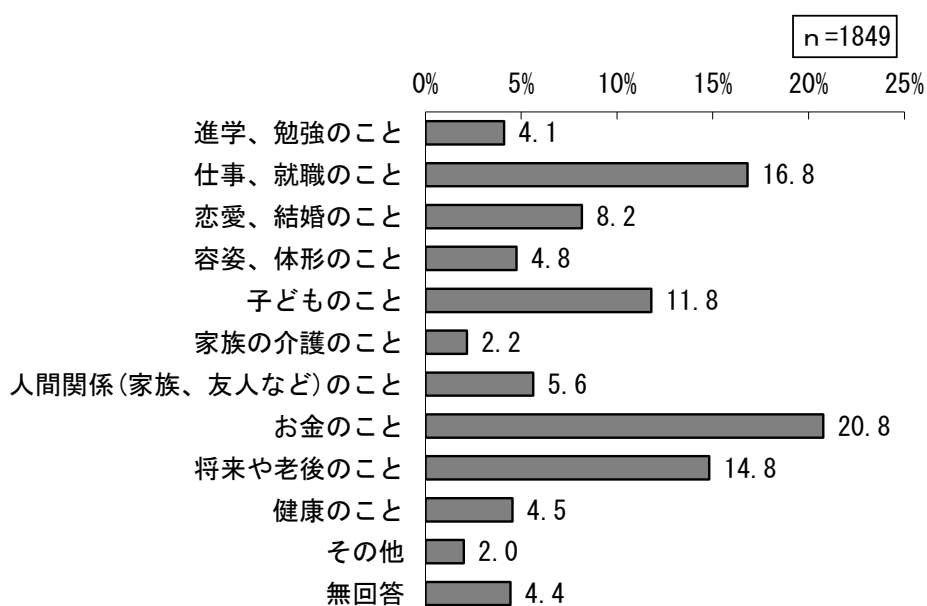
【最大の悩み・不安】

- 最大の悩み・不安は、「お金のこと」が23.5%と最も高くなっています。次いで「仕事、就職のこと」（20.0%）、「将来や老後のこと」（13.7%）と続きます。



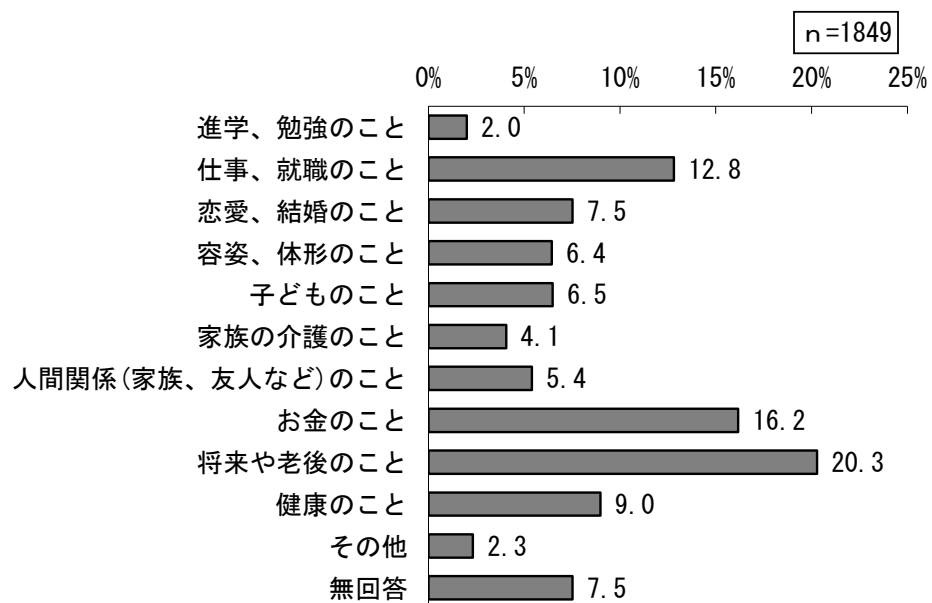
【第2の悩み・不安】

- 第2の悩み・不安は、「お金のこと」が20.8%と最も高くなっています。次いで「仕事、就職のこと」（16.8%）、「将来や老後のこと」（14.8%）と続きます。



【第3の悩み・不安】

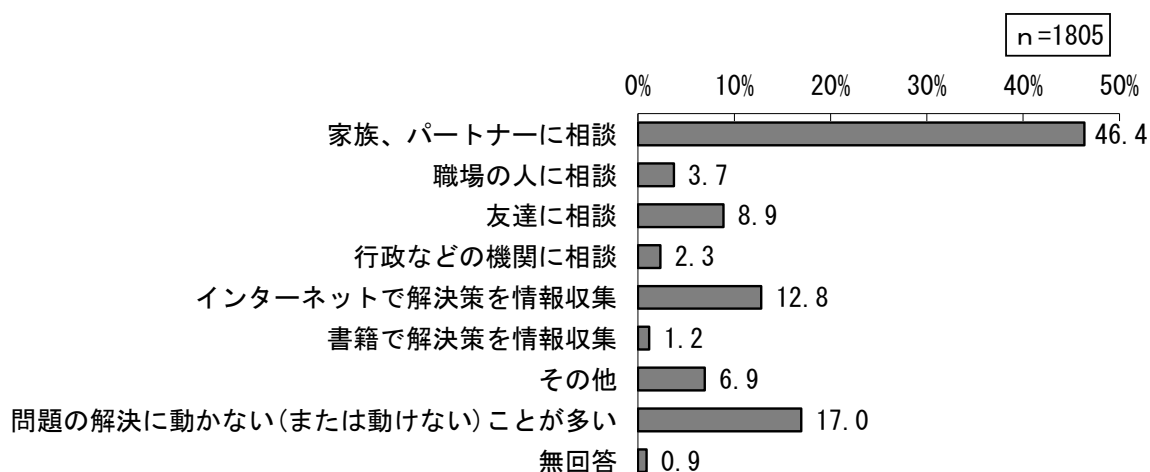
- 第3の悩み・不安は、「将来や老後のこと」が20.3%と最も高くなっています。次いで「お金のこと」（16.2%）、「仕事、就職のこと」（12.8%）と続きます。



問 15 不安や悩みを抱えている場合、どのような方法で解決しようとするのが最も多いですか。前問で回答された不安・悩みごとに、それぞれお答えください。（最大、第2、第3のそれぞれに該当する番号を1つ記入）

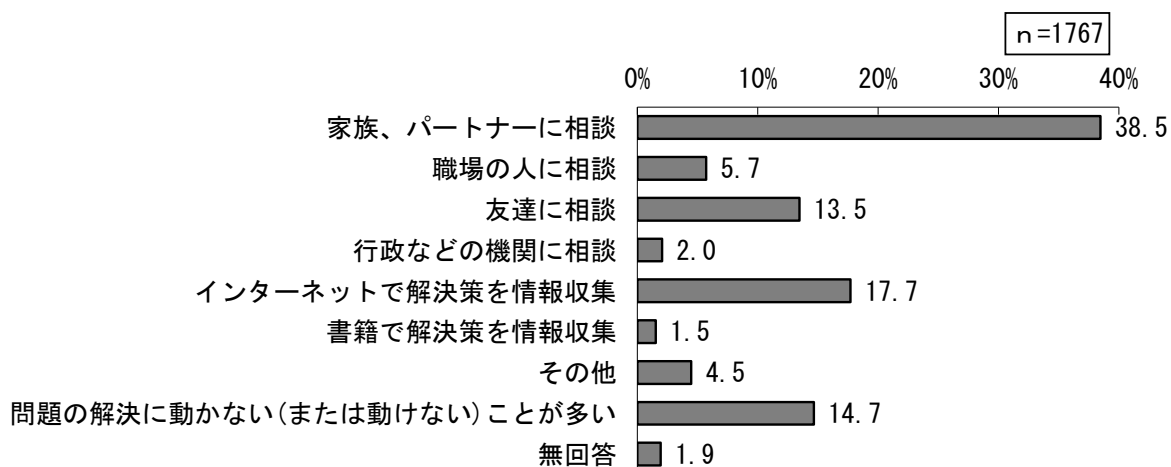
【最大の悩み・不安】

- 最大の悩み・不安についての解決方法は、「家族、パートナーに相談」が 46.4%と最も高くなっています。次いで「インターネットで解決策を情報収集」（12.8%）、「友達に相談」（8.9%）と続きます。



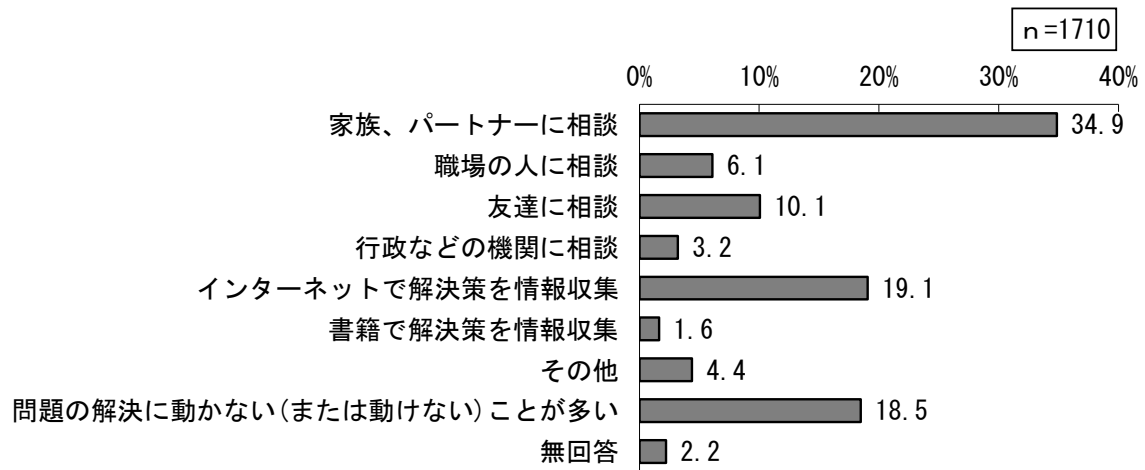
【第2の悩み・不安】

- 第2の悩み・不安についての解決方法は、「家族、パートナーに相談」が 38.5%と最も高くなっています。次いで「インターネットで解決策を情報収集」（17.7%）、「友達に相談」（13.5%）と続きます。



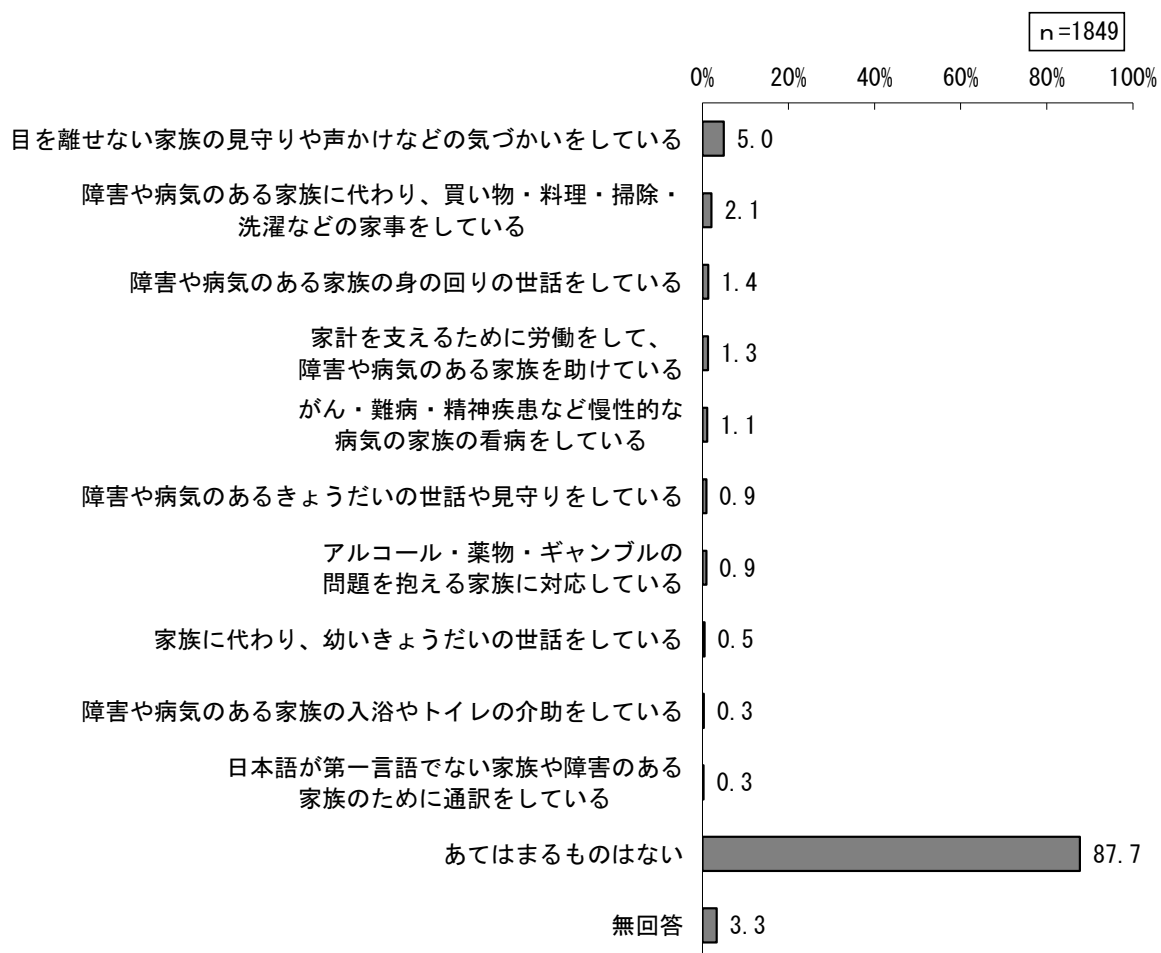
【第3の悩み・不安】

- 第3の悩み・不安についての解決方法は、「家族、パートナーに相談」が34.9%と最も高くなっています。次いで「インターネットで解決策を情報収集」（19.1%）、「友達に相談」（10.1%）と続きます。



問 16 あなたは現在、以下の状況にありますか。（あてはまるものすべてに○）

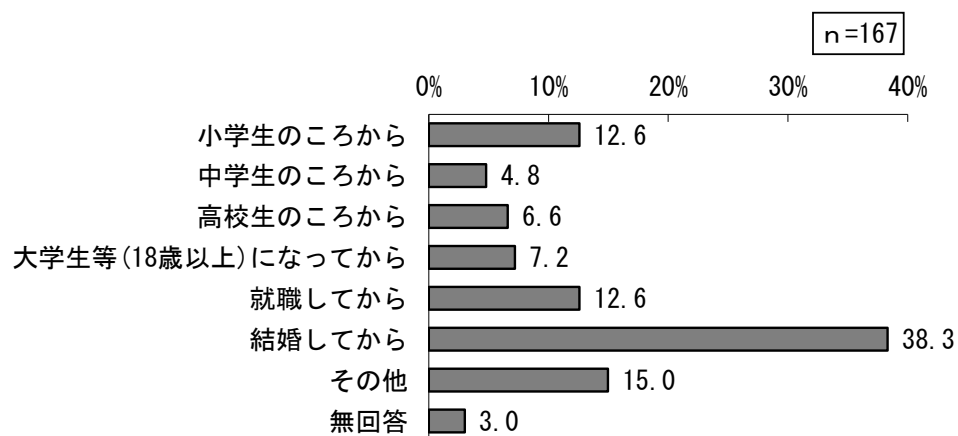
- 現在の状況については、「あてはまるものはない」が 87.7%とほとんどを占めています。次いで「目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている」（5.0%）、「障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている」（2.1%）と続きます。



問 16-1 問 16 で「11」以外を選んだ方にお聞きます。

そのような状況になったのはいつからですか。（1 つに○）

- そのような状況になった時期では、「結婚してから」が 38.3%と最も高くなっています。
次いで「小学生のころから」・「就職してから」（12.6%）と続きます。



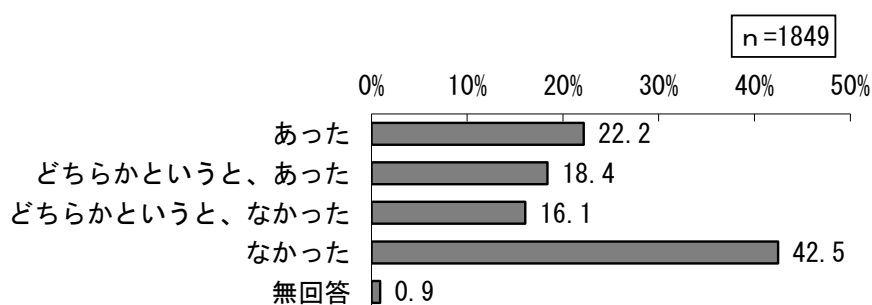
問 17 すべての方にお聞きします。

あなたは今までに社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありますか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況にありますか。

(ア、イのそれぞれ1つに○)

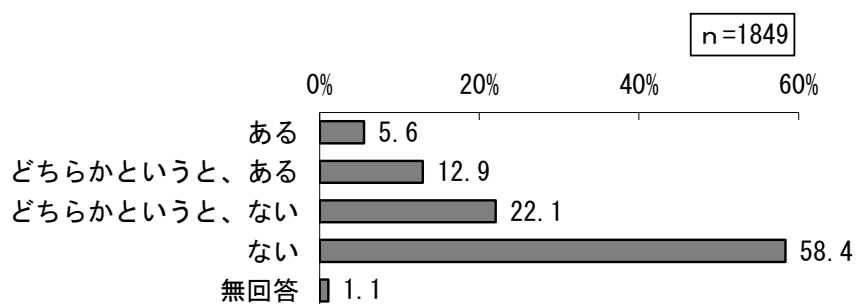
【ア 今までの経験】

- 今までに社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験では、「なかった」が42.5%と最も高くなっています。次いで「あった」(22.2%)、「どちらかというと、あった」(18.4%)と続きます。



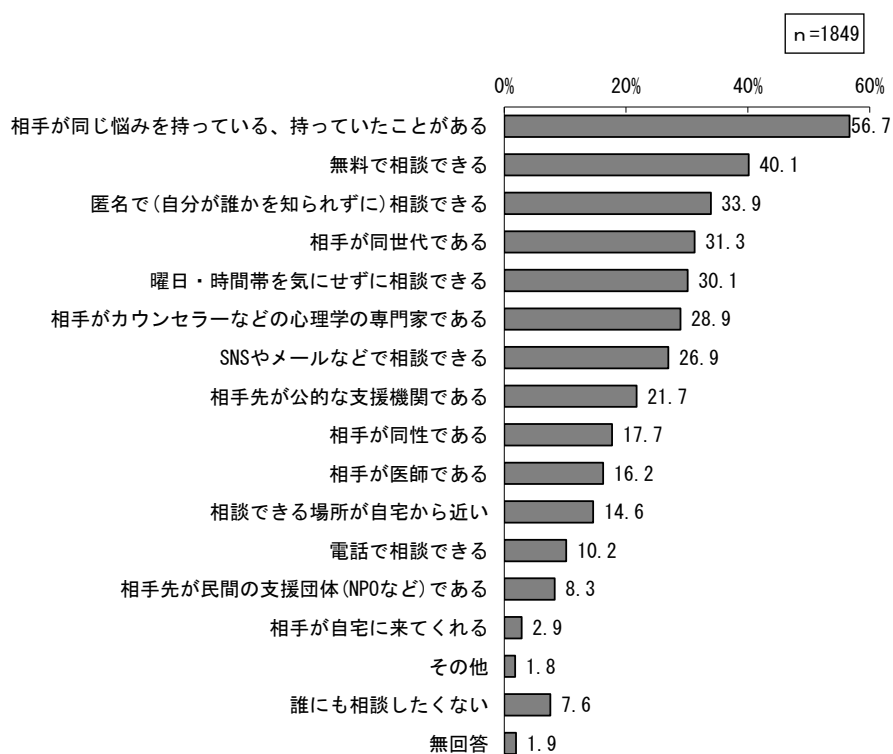
【イ 現在の状況】

- 現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況にあるかでは、「ない」が58.4%と最も高くなっています。次いで「どちらかというと、ない」(22.1%)、「どちらかというと、ある」(12.9%)と続きます。



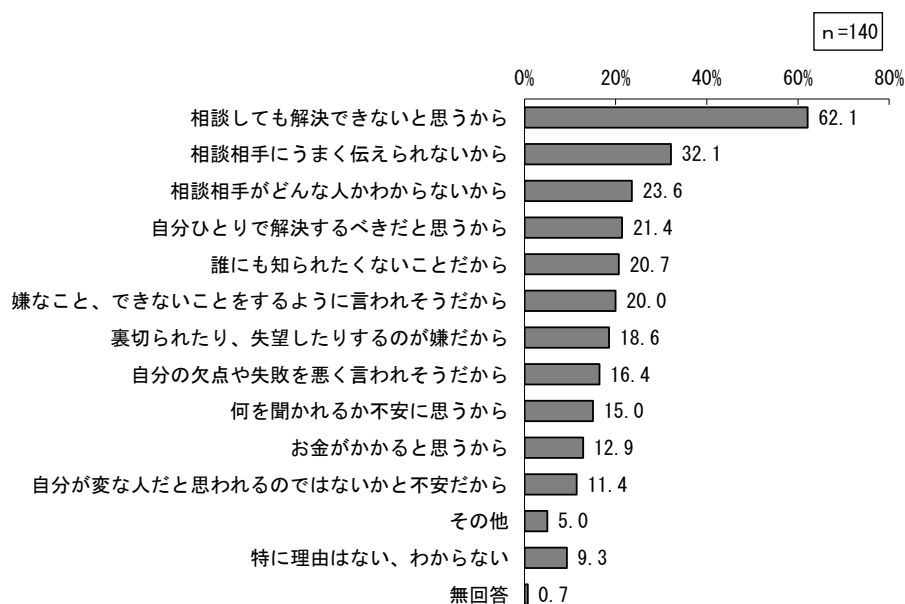
問 18 あなたが社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったとき、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら相談したいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったとき、相談したい人では、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 56.7%と最も高くなっています。次いで「無料で相談できる」(40.1%)、「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」(33.9%)と続きます。



問 18-1 問 18 で「16」を選んだ方のみ、お答えください。誰にも相談したくないと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

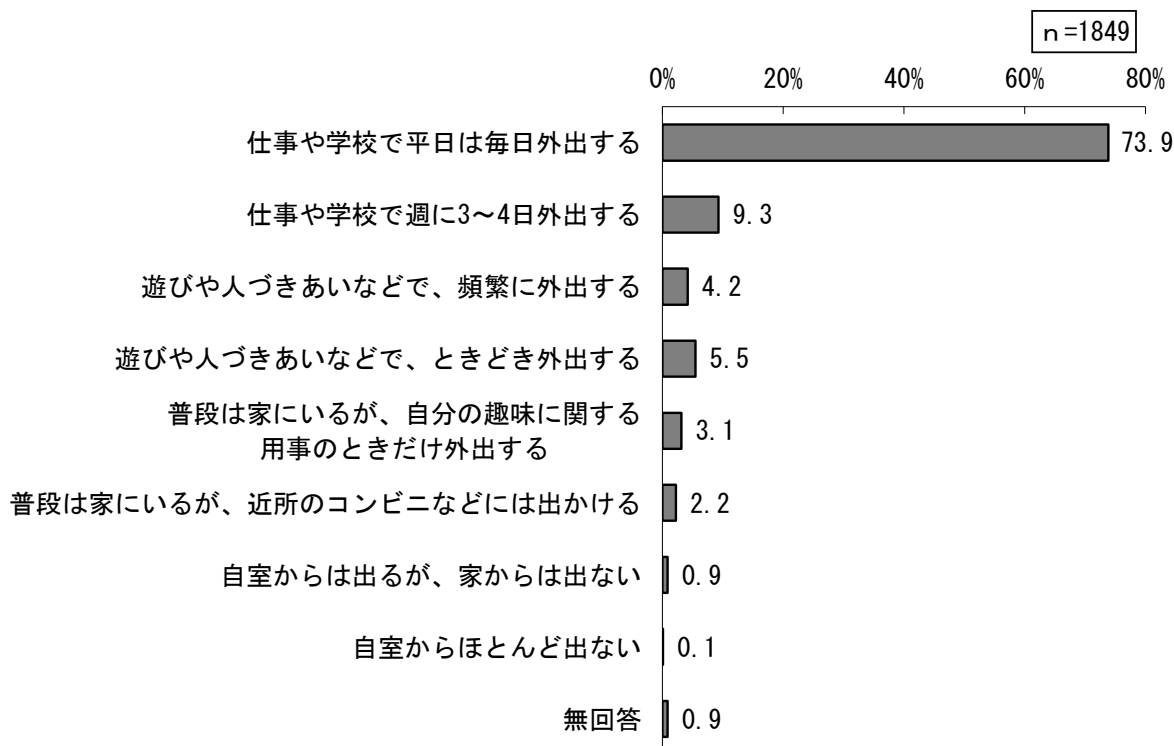
- 誰にも相談したくないと思う理由では、「相談しても解決できないと思うから」が 62.1%と最も高くなっています。次いで「相談相手にうまく伝えられないから」（32.1%）、「相談相手がどんな人かわからないから」（23.6%）と続きます。



問 19 すべての方にお聞きします。

あなたは普段どのような目的や頻度で外出しますか。（1つに○）

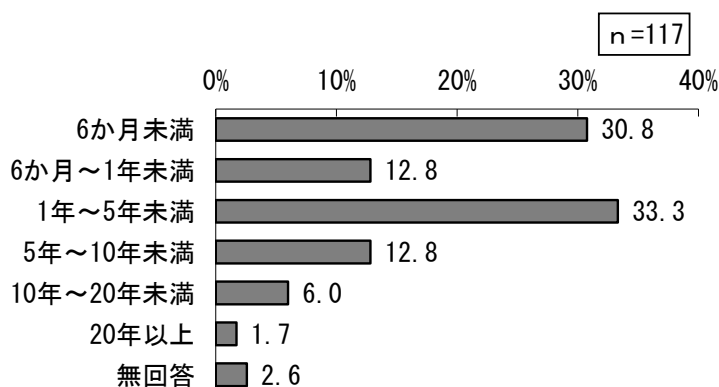
- 普段どのような目的や頻度で外出するかでは、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が73.9%と最も高くなっています。次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」（9.3%）、「遊びや人づきあいなどで、ときどき外出する」（5.5%）と続きます。



問 19-1 問 19 で「5」～「8」を選んだ方のみ、お答えください。

あなたの外出状況が現在の状態になって、どのくらい、たちますか。（1つに○）

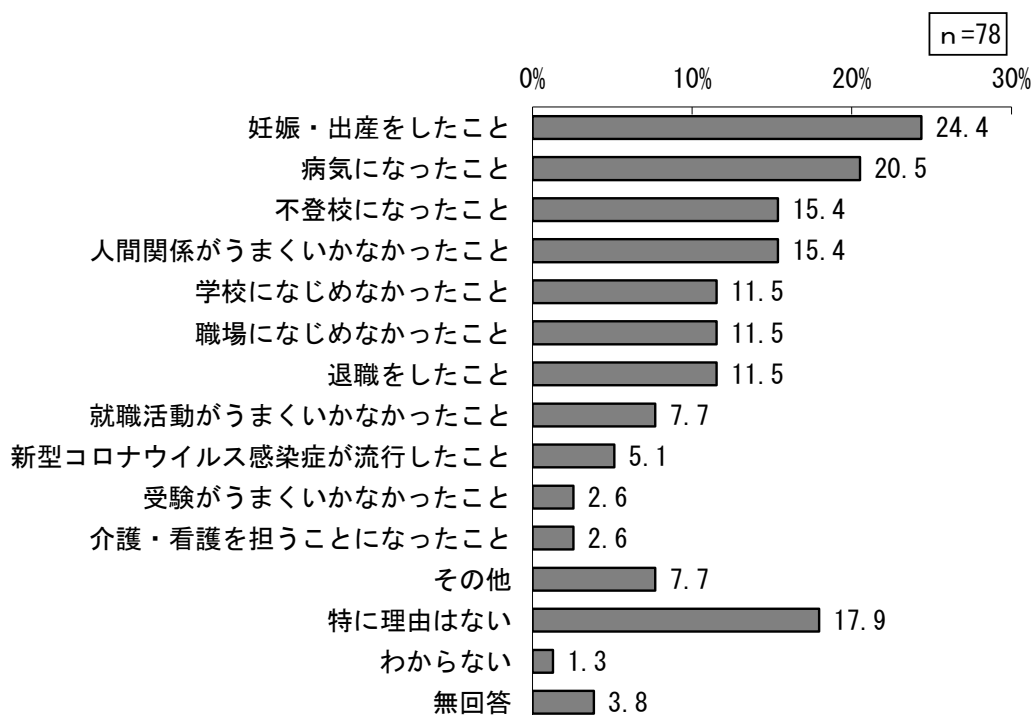
- 外出状況が現在の状態になって、どのくらいたつかでは、「1年～5年未満」が33.3%と最も高くなっています。次いで「6か月未満」（30.8%）、「6か月～1年未満」・「5年～10年未満」（12.8%）と続きます。



問 19-2 問 19-1 で「2」～「6」を選んだ方のみ、お答えください。

あなたの外出状況が現在の状態になるきっかけは何でしたか。（あてはまるものすべてに○）

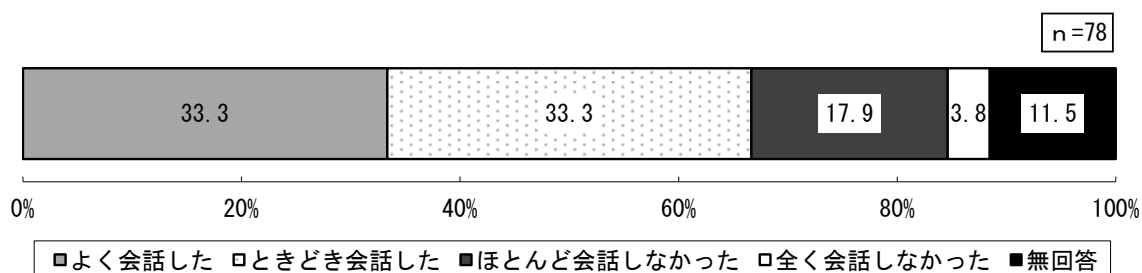
- 外出状況が現在の状態になるきっかけでは、「妊娠・出産をしたこと」が 24.4%と最も高くなっています。次いで「病気になったこと」（20.5%）、「不登校になったこと」・「人間関係がうまくいかなかったこと」（15.4%）と続きます。



問 19-3 問 19-1 で「2」～「6」を選んだ方のみ、お答えください。

最近6カ月間に、家族以外の人と会話しましたか。（1つに○）

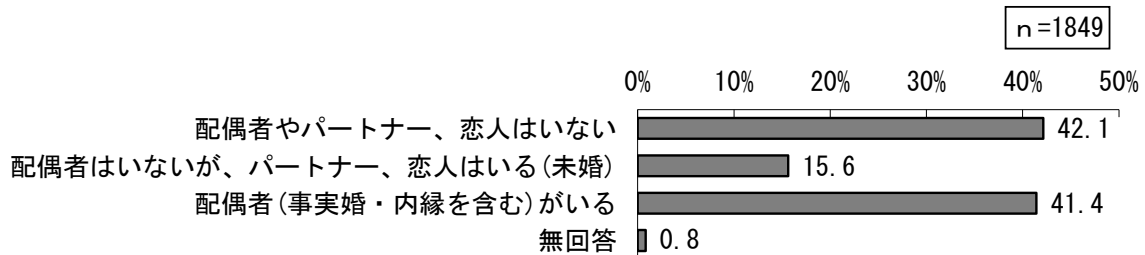
- 最近6カ月間に、家族以外の人と会話したかでは、「よく会話した」、「ときどき会話した」がともに 33.3%と高く、次いで「ほとんど会話しなかった」（17.9%）、「全く会話しなかった」（3.8%）と続きます。



Ⅱ-4. 結婚・出産について

問 20 現在、配偶者やパートナー、恋人はいますか。（1つに○）

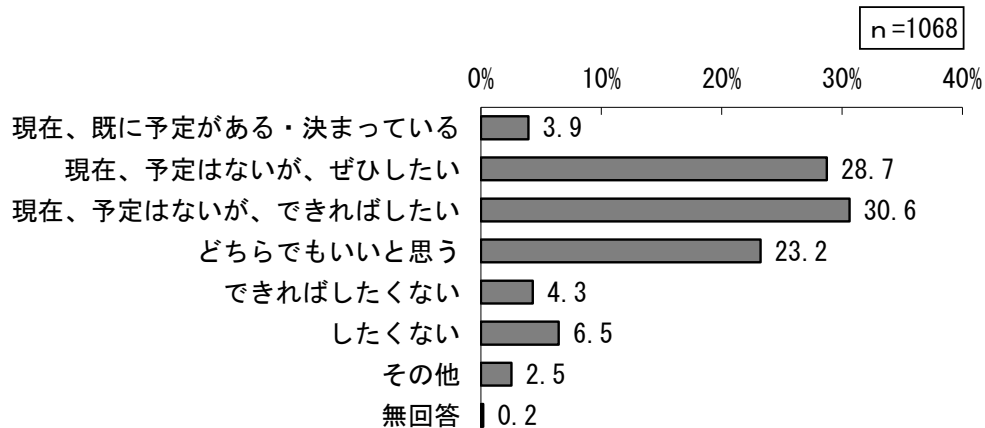
- 現在の配偶者やパートナー、恋人の有無では、「配偶者やパートナー、恋人はいない」が 42.1%と最も高く、「配偶者（事実婚・内縁を含む）がいる」は 41.4%、配偶者はいないが、パートナー、恋人はいる（未婚）は 15.6%となっています。



問 20-1 問 20 で「1」、「2」を選んだ方のみ、お答えください。

あなた今後、結婚したいと思いますか。（1つに○）

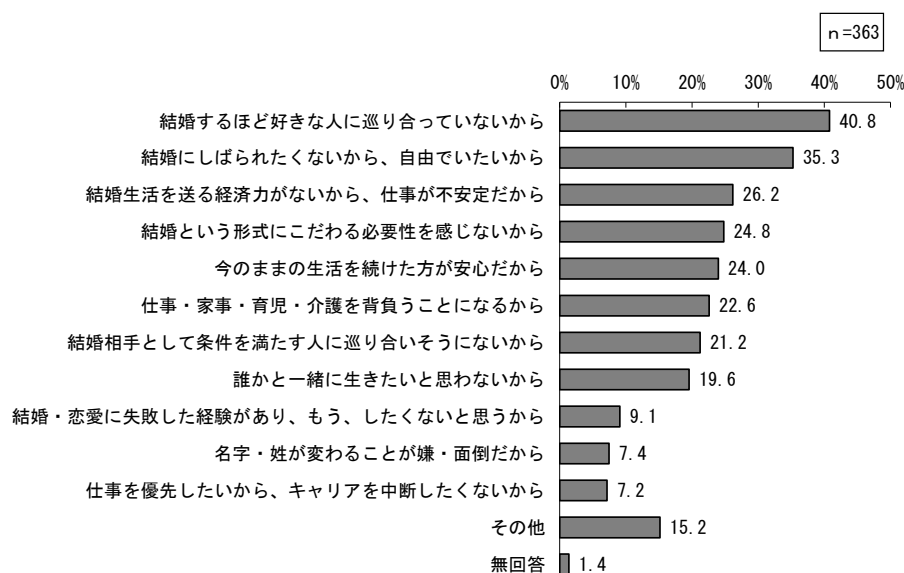
- 今後、結婚したいと思うかでは、「現在、予定はないが、できればしたい」が 30.6%と最も高くなっています。次いで「現在、予定はないが、ぜひしたい」（28.7%）、「どちらでもいいと思う」（23.2%）と続きます。



問 20-2 問 20-1 で「4」～「6」を選んだ方のみ、お答えください。

今後、積極的に結婚したいと思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

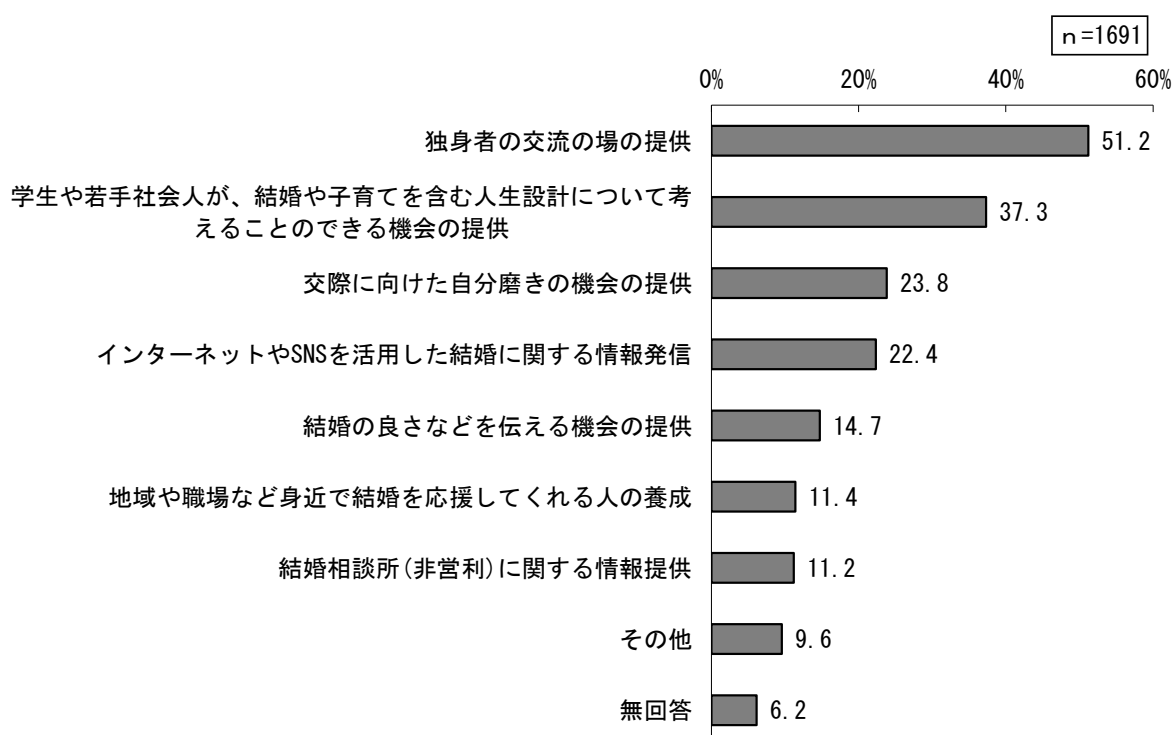
- 今後、積極的に結婚したいと思わない理由では、「結婚するほど好きな人に巡り合っていないから」が 40.8%と最も高くなっています。次いで「結婚にしばらくしたくないから、自由でいたいから」（35.3%）、「結婚生活を送る経済力がないから、仕事が不安定だから」（26.2%）と続きます。



※問 21 から問 24 は、問 20 で「3」を選んだ方または問 20-1 で「1」～「4」を選んだ方が回答する問です。

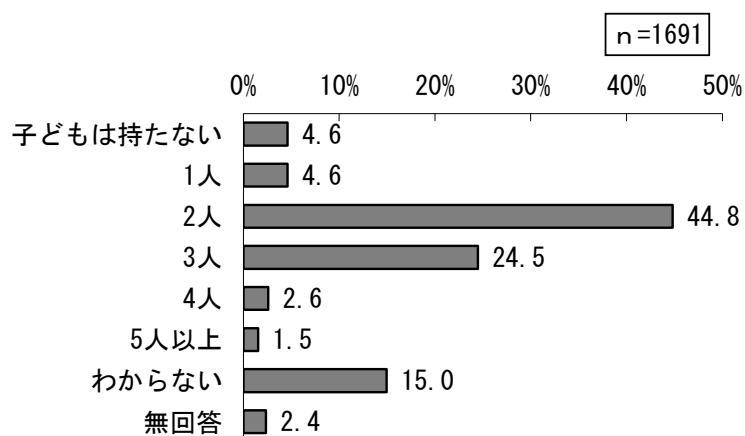
問 21 長野市では、様々な結婚支援に取り組んでいますが、結婚を希望する人に対して、さらにどのような取組に力を入れたらいいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 市が結婚を希望する人に対して、力を入れるべき取組では、「独身者の交流の場の提供」が 51.2%と最も高くなっています。次いで「学生や若手社会人が、結婚や子育てを含む人生設計について考えることのできる機会の提供」（37.3%）、「交際に向けた自分磨きの機会の提供」（23.8%）と続きます。



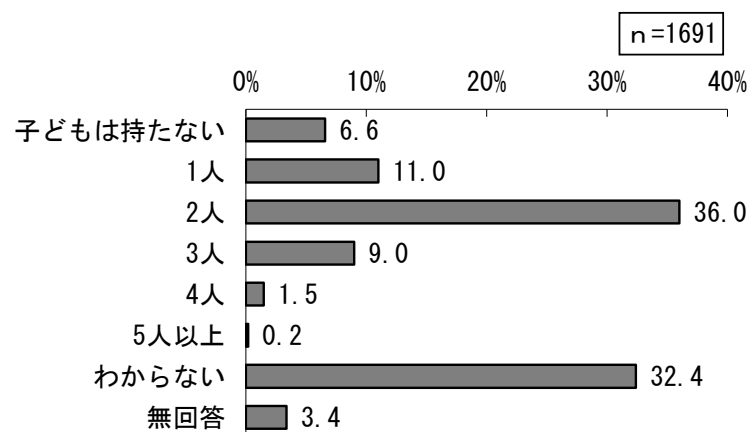
問 22 あなたの理想的な子どもの数は何人ですか。（1つに○）

- 理想的な子どもの人数では、「2人」が44.8%と最も高くなっています。次いで「3人」（24.5%）、「子どもは持たない」・「1人」（4.6%）と続きます。



問 23 あなたは、今いるお子さんも含め、実際には何人の子どもの持つつもりですか。（1つに○）

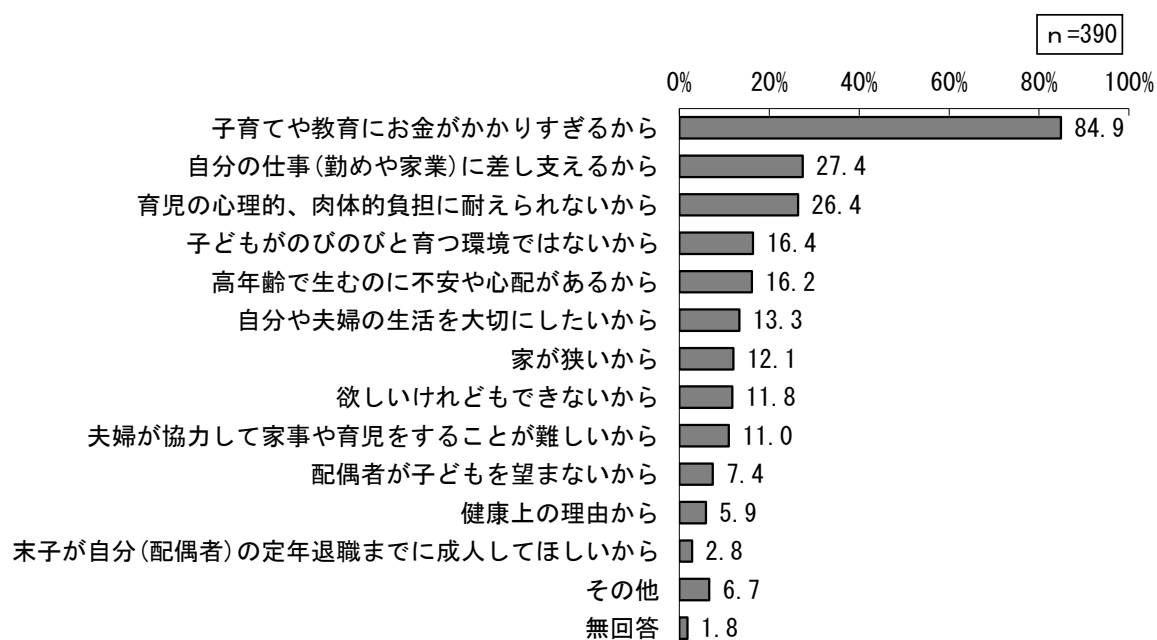
- 今いるお子さんも含め、実際に持ちたい子どもの人数では、「2人」が36.0%と最も高くなっています。次いで「1人」（11.0%）、「3人」（9.0%）と続きます。



問 24 持つつもりの子どもの数（問 23）が、理想的な子どもの数（問 22）より少ない方のみ、お答えください。

持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。（あてはまるものすべてに○）

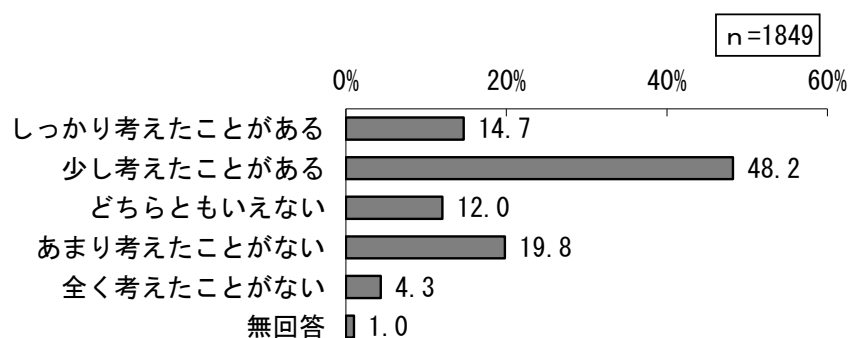
- 持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ない理由では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 84.9%と最も高くなっています。次いで「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」（27.4%）、「育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」（26.4%）と続きます。



Ⅱ-5. 人生設計（ライフプラン）について

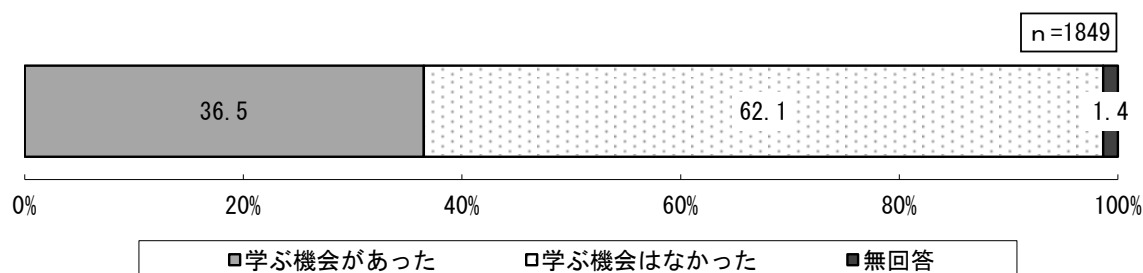
問 25 あなたは、自分の将来についての人生設計（ライフプラン）について、どの程度、考えたことがありますか。（1つに○）

- 自分の将来についての人生設計（ライフプラン）について、どの程度、考えたことがあるかでは、「少し考えたことがある」が48.2%と最も高くなっています。次いで「あまり考えたことがない」（19.8%）、「しっかり考えたことがある」（14.7%）と続きます。



問 26 あなたは、自分の人生設計（ライフプラン）について学んだ機会が、これまでにありますか。（1つに○）

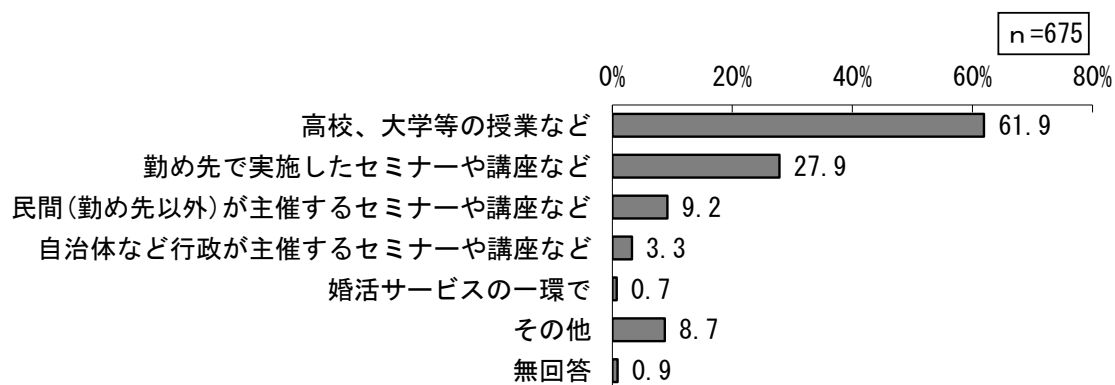
- 自分の人生設計（ライフプラン）について学んだ機会の有無では、「学ぶ機会があった」が36.5%と高く、「学ぶ機会がなかった」は62.1%となっています。



問 26-1 問 26 で「1」を選んだ方のみ、お答えください。

どちらで学びましたか。（あてはまるものすべてに○）

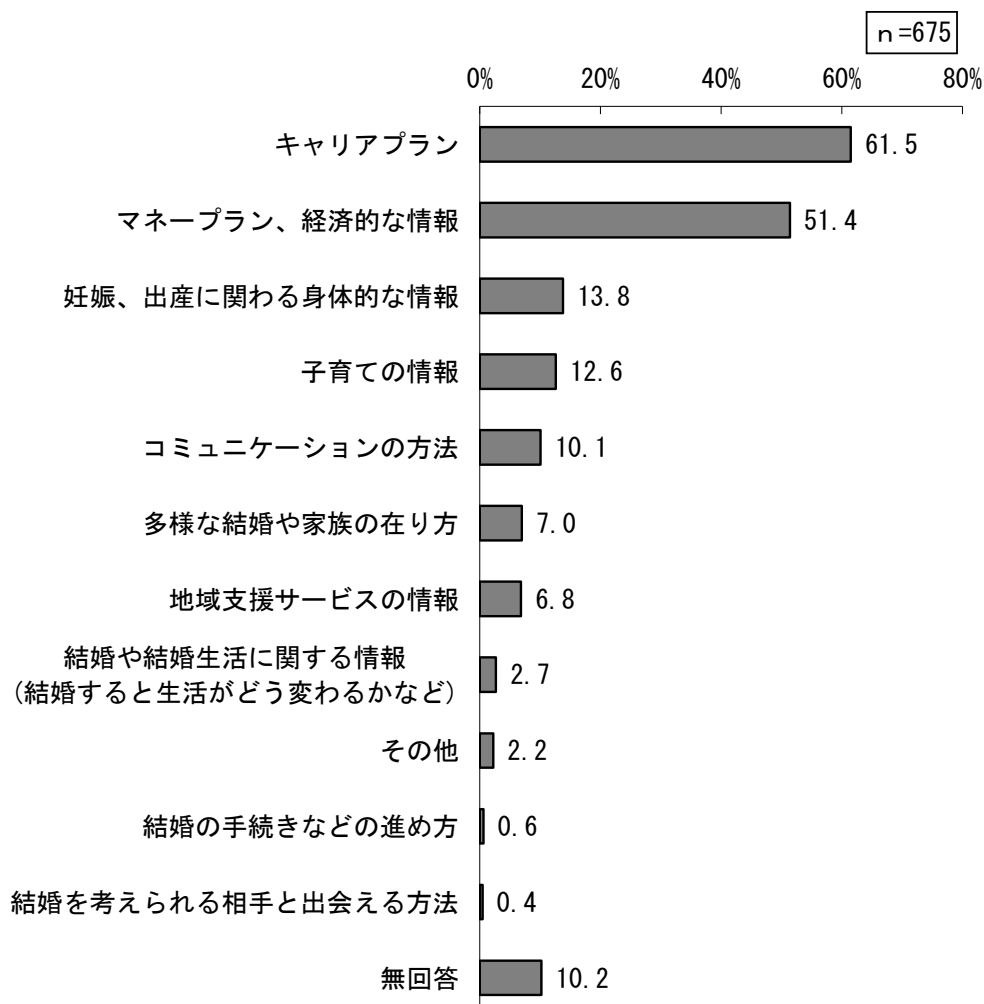
- 自分の人生設計（ライフプラン）について学んだところは、「高校、大学等の授業など」が 61.9%と最も高くなっています。次いで「勤め先で実施したセミナーや講座など」（27.9%）、「民間（勤め先以外）が主催するセミナーや講座など」（9.2%）と続きます。



問 26-2 問 26 で「1」を選んだ方のみ、お答えください。

どのようなことを学びましたか。（あてはまるものすべてに○）

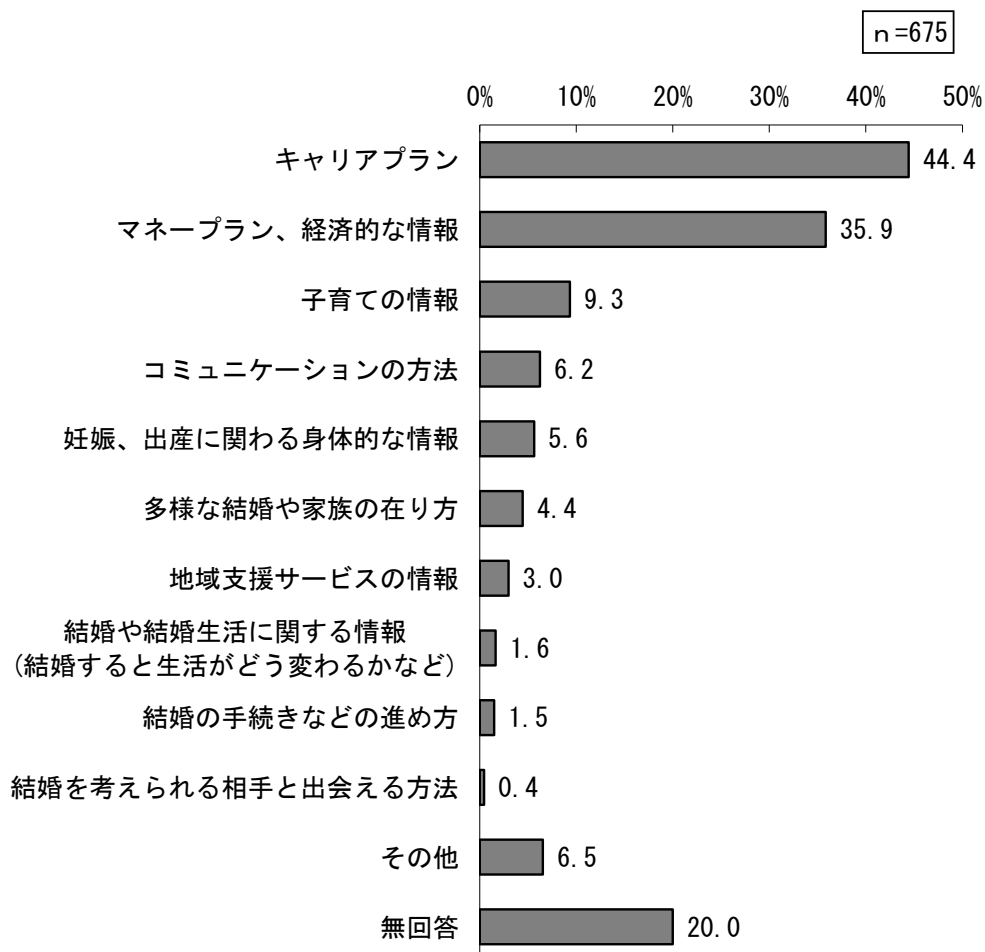
- 学んだことは、「キャリアプラン」が 61.5%と最も高くなっています。次いで「マネープラン、経済的な情報」（51.4%）、「妊娠、出産に関わる身体的な情報」（13.8%）と続きます。



問 26-3 問 26 で「1」を選んだ方のみ、お答えください。

学んだ結果、進学や仕事、結婚や出産などに対して前向きになったものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

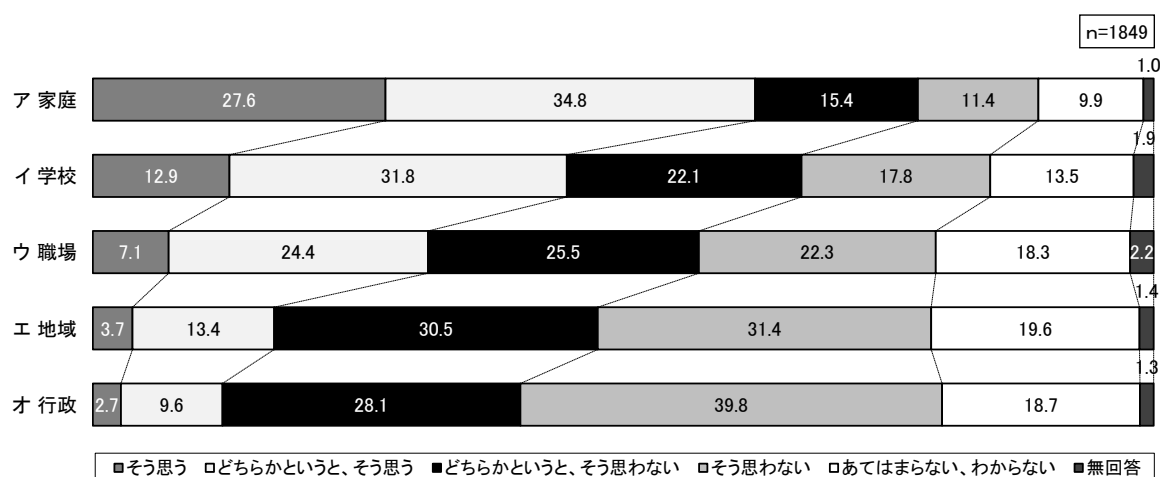
- 学んだ結果、進学や仕事、結婚や出産などに対して前向きになったものは、「キャリアプラン」が 44.4%と最も高くなっています。次いで「マネープラン、経済的な情報」(35.9%)、「子育ての情報」(9.3%)と続きます。



Ⅱ-6. 意見表明について

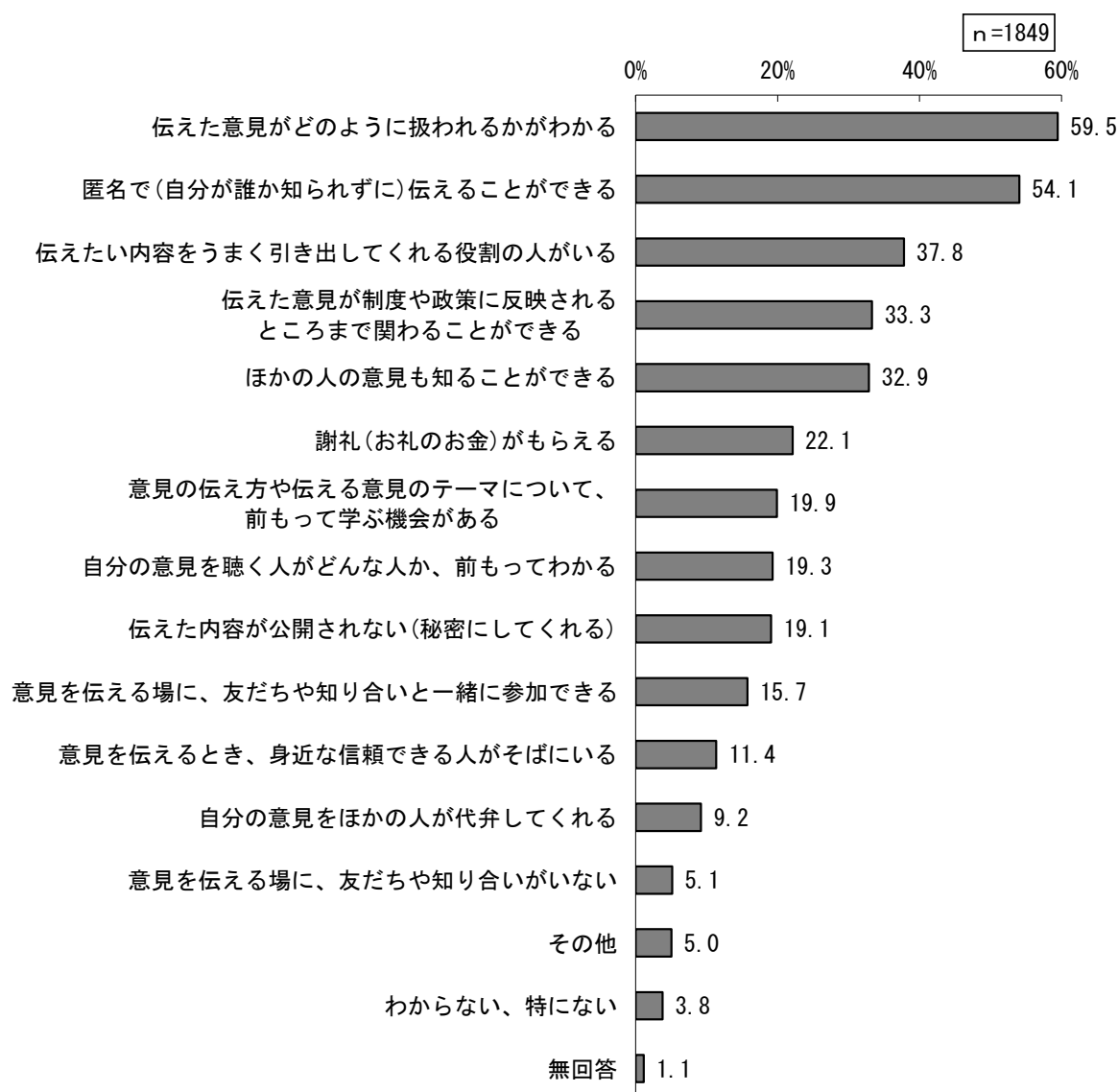
問 27 あなたは、以下において、若者の意見が尊重されていると思いますか。（アからオについて、それぞれ1つに○）

- 若者の意見が尊重されていると思うかは、「そう思う」と「どちらかという、そう思う」をあわせた『そう思う』についてみると、「ア 家庭」が 62.4%と最も高くなっています。次いで、「イ 学校」（44.7%）、「ウ 職場」（31.5%）と続きます。
- 一方で、「エ 地域」は 17.1%、「オ 行政」は 12.3%と低くなっています。



問 28 若者のみなさんが長野市（市役所）に対して当事者として自分の意見が言いやすくなるためには、どのような工夫やルールがあればいいと思いますか。（優先順位が高いもの5つまでに○）

- 若者が、長野市（市役所）に対して当事者として自分の意見が言いやすくなると思う工夫やルールでは、「伝えた意見がどのように扱われるかがわかる」が 59.5%と最も高くなっています。次いで「匿名で（自分が誰か知られずに）伝えることができる」（54.1%）、「伝えたい内容をうまく引き出してくれる役割の人がある」（37.8%）と続きます。



問 29 次のそれぞれについて、あなたの認識に近いものを選んでください。（ア～クについて、それぞれ1つに○）

- 回答者の認識に近いものについて、「そう思う」と「どちらかという、そう思う」をあわせた『そう思う』についてみると、「エ 学校では、子どもは安全に安心して過ごすことができ、子どもにとって大切な居場所のひとつであると思う」が 68.1%と最も高くなっています。次いで、「ア 子どもや若者は権利の主体であると思う」（60.4%）、「オ 子ども・若者の心身の健康等についての情報やこころのケアが十分だと思う」（49.9%）と続きます。
- 「そう思わない」と「どちらかという、そう思わない」をあわせた『そう思わない』では、「イ あなたの周りには、子どもや若者の遊びや体験活動、社会参加、活躍の機会や場が十分にあると思う」が 52.8%と最も高く、次いで「キ 保護者が子どもの基本的な生活習慣や自立心等を育む教育を家庭で行うための支援がされていると思う」（47.5%）、「ウ 障害のある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されていると思う」（45.6%）と続きます。

